

(一財)京都市上下水道サービス協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
-------------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	<p>漏水事故に伴う市民生活や企業活動への影響を最小限に抑えるため, 24時間対応の緊急出動体制常時配置の継続によって, 迅速な漏水修繕作業を実施する。</p> <p>また, 知識・技能を有した京都府内の排水設備工事責任技術者を育成し, 適正施工を実現することによって京都府民の快適な生活環境向上に資するとともに, 京都市内の排水設備しゅん工検査・技術指導を適正に実施することによって, 厳正な排水設備工事施行に貢献する。</p>
財務面	<p>受託収入の減少や公益目的支出計画の実施に伴う正味財産の減少に対応するため, 事業運営収支の健全化を図るとともに, 公益目的支出計画を安定的かつ確実に実施する。</p>
組織面	<p>事業運営収支の健全化を図るため, 収支状況に見合った人員削減を実施する。</p>
その他	<p>京都市における上下水道事業全体の業務執行の在り方の整理による, 契約方法の見直しに対応するため, 競争力を強化し, 継続的な受託を目指す。</p>

3 基本の方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本の方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「排水設備工事の適正施行に貢献」						
取組内容	排水設備工事責任技術者認定試験(実施機関:京都府下水道協会)に係る受験者講習等を実施し、京都府内の下水道排水設備工事従事者に対し下水道法等の法令知識や技術基準を修得させるとともに、京都市内の排水設備しゅん工検査及び適確な指導を行うことによって、厳正な排水設備工事施行に貢献する。					
○指標	排水設備工事責任技術者認定試験合格率					
採用理由	技能・知識を有した排水設備工事責任技術者の育成成果を的確に表すため					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位:%)
	42.4	44.0	46.0	48.0	50.0	
実現方法	講習会テキストを順次見直していくほか、講師(協会職員)の自己研鑽による講習技能のレベルアップによって、合格率を向上させる。					

(2)財務に関する取組

目標1「事業運営収支の健全化」						
取組内容	事業運営収支(公益目的支出計画収支を除く正味財産増減額)は、今後、鉛管解消計画の進捗に伴う漏水修繕受託収入の減少が影響し、さらに、公益目的支出計画の実施に伴う正味財産の減少に対応するため、毎年720万円の黒字を出すことによって、協会運営に必要となる運転資金等の財産を確保する必要がある。 そのため、収支状況を見極めながら、人員縮小をはじめとした人件費削減など、具体的な経費削減策を検討・実施し、事業運営収支について、平成27～29年度の3箇年で計2,160万円(年平均720万円)の黒字化を図る。					
○指標	事業運営収支(公益目的支出計画収支を除く正味財産増減額)					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位:千円)
	△ 7,973	3,250	13,200	1,200	7,200	

目標2「公益目的支出計画の安定的かつ確実な実施」						
取組内容	公益目的支出計画に計上する上下水道局への特定寄附金及び公益目的事業費(上下水道関連啓発事業)を、計画どおり支出する。					
○指標	公益目的支出額					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位:千円)
	92,731	32,200	132,200	22,200	12,200	

(3) 組織に関する取組

目標「人員の削減」						
取組内容	<p>受託収入の減少傾向及び公益目的支出計画に対応するため、平成28年度から平成29年度までに4名(3.4%)の協会職員を削減し、安定的かつ継続的な事業運営収支の健全化を図る。</p> <p>具体的には、事業運営収支の黒字が見込まれる平成27年度において、以降の収支状況を見極めながら削減人員数を見直すこととする。</p>					
○指標	削減人員数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	20	0	0	3	1	